

【マルチメディア文化論】

— ブロードバンドと電子メール

2009年度 第10回

太田 信宏

1. ブロードバンドの種類

broadband (広帯域、広周波数帯域)
→ 高速通信・常時接続を表すことば

- ◇ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line) 非対称デジタル加入者線
8~50 Mbps 月額 約3,500円 (利用者多いが年々減少傾向)
- ◇CATV(Cable Television) ケーブルテレビ会社が運営
1~160Mbps 月額 約3,000~6,000円
- ◇FTTH(Fiber to the Home) 光ファイバーを利用したブロードバンド
100Mbps 月額 4,000~7,000円 (利用者急増)

(参考) ナローバンドとの速度比較
ISDN→64kbps FOMA→384kbps
単位: 1Mbps(メガ)=1,000kbps(キロ)

回線スピード測定(USEN) <http://www.usen.com/speedtest/top.html>

2. ADSLの特徴

非対称(Asymmetric) → 上りと下りの速度が異なるという意味

利用者 ← 上り (up load) → プロバイダ
下り (down load)

たとえば 上りは、1Mbps
下りは、8Mbps (速度は最大値 → ベストエフォート)

[上り] → メールの送信、ホームページの発信など。
[下り] → メールの受信、ホームページを見る、音楽を聴く、映像を見る、ファイルやソフトをダウンロードする・・・

→ 多くのユーザーにとっては、圧倒的に「下り」の利用が多い。

プロバイダのサイト [Yahoo! BB](#) [J-COM](#)

3. 電子メールとアドレス Electronic-mail

メールアドレスの形式は世界共通
a9c31xxx@shonan.bunkyo.ac.jp

↓ ↓
ユーザID ドメイン名

ユーザID: 個人を識別するもの(氏名に当たる)
→ ドメイン内にある、ユーザ名称はすべて異なる

ドメイン名: 所属するネットワークを表す(住所に当たる)
→ IPアドレスを文字に置き換えたもの
→ 同一のドメイン名称が2つ存在することはない

文教大学 → ドメイン名 www.bunkyo.ac.jp
→ IPアドレス 210.188.184.253

4. ドメイン名の形式

shonan . bunkyo . ac . jp
④ ③ ② ①

① 第1ドメイン (TLD: top level domain)

主な国別コード (Country Code)	jp 日本	fr フランス	uk イギリス
	ca カナダ	kr 韓国	it イタリア

主な一般TLD	com 一般企業	net ネットワーク関連	org その他組織
	info 一般用	biz ビジネス	aero 航空業界

② 第2ドメイン

ac 教育機関 (academy)	go 政府機関 (government)	co 一般企業 (commerce)
or その他組織 (organization)	ad/ne ネットワーク管理組織 (administrator/network)	

※第3ドメインや汎用ドメイン(.ooo.jp)は、利用者が決めることができる
(一覧リスト) <http://www.iana.org/domains/root/db/>

5. 電子メールのしくみ -1-

shonan.bunkyo.ac.jp (送信側) a9c31xxx
メールサーバ

インターネット

xxx.yyy.co.jp (受信側) abc999
メールサーバとは・・・
メールを送受信するためのコンピュータのこと
携帯電話 (プッシュサービス)

パソコンのメール受信 → 新着メールが届いているかどうかの確認が必要 (pull型)

携帯電話のメール受信 → プロバイダが携帯電話本体へ直接メールを配信 (push型)

6. 電子メールのしくみ -2-

TO(宛先)		メールの本文 (署名)
CC		
BCC		
Sub(件名)		

- ① TO(宛先) → 送信先のメールアドレスを入れる
カンマで区切れば、複数指定可 (同報メール)

aaa@xxx.co.jp, bbb@yyy.ne.jp, ccc@zzz.com, ...

- ② CC (Carbon Copy) → 本来の宛先以外に、送信したい場合のアドレス

- ③ BCC (Blind CC) → ①および②の相手に見えないように、送信できる
(ここに入れたアドレスは、受信メールに表示されない)

私(営業部) 文教花子	TO	部長	受け取った人は、 それぞれどう見える?
	CC	営業課長, 総務課長	
	BCC	Xさん, Yさん	

7. メールの利用とネチケツ -1-

- (1) テキストメールとHTMLメール (network-etiquette)

テキストメール = 文字だけのメール

HTMLメール = 色、飾り、画像入りメール。

- ・ファイルサイズが大きい (受信料が高くなる)
- ・受信側が対応していないと開けない
- ・ウイルスメールの危険性が高い

↓

初対面の人に送るのは失礼

- (2) 添付ファイル(同封ファイル)

・ファイルサイズに注意

→ 1000KB(1MB) を超えるのはマナー違反

・ファイルの種類に注意 (文書データ、画像データ、映像データ...)

→ 相手はそのファイルを開けるか

8. メールの利用とネチケツ -2-

- (3) タイトルの工夫 (内容がわかるように)

例: 委員会開催のお知らせメール	「よくない例」
Sub: 連絡です	Sub: 連絡です
↓	Sub: 教えてください
Sub: 委員会のお知らせです	Sub: おはようございます
↓	
Sub: ××委員会開催のお知らせ(〇月〇日〇時)	

- (4) BCCの上手な利用

- ・大勢の人に送る場合(招待状、案内状など)
→ 受信者のアドレスはすべてBCCに入れる
- ・メールの控えを取っておきたいとき
→ 自分のアドレスをBCCに入れる

(情報モラル研修教材) <http://www.cec.or.jp/books/moral/>